

2-2 計算方法（平日） / 計算方法（休日）の設定を行う

勤務パターンの時間帯入力が終わりましたら、次は、時間数計算をどのように計算するかを設定していきます。

なお、集計を1分単位で計算を行う場合、この設定を行っていただく必要はありません。このまま【2-3 休憩時間を設定する】へ進んでください。

[集計方法の設定]⇒ [集計方法一覧]⇒ [集計方法の編集]

⇒ [計算方法(平日)]タブ

計算方法とまるめの考え方

まるめとは、時間数計算にあたり、切上・切捨を行う端数処理を差します。

まるめ(端数処理)方法について、以下の設定が出来ます。

●時刻まるめ

出勤・外出・戻り・退勤・例Ⅰ・例Ⅱの各打刻を決めた単位時間・切上点で端数処理を行い、時間数計算を行います。

●時刻まるめ1（4＋2打刻方式）

基本は最大4打刻(出勤・外出・戻り・退勤)までで打刻を行い、呼び出し勤務などで、2回目の出退勤(例Ⅰ・例Ⅱ)で打刻する場合は時刻まるめ1を使用します。



●時刻まるめ2（6打刻方式）

休憩時間帯が不特定で、打刻で休憩を取る場合に使用します。

休憩打刻は最大2打刻まで可能で、不在時間帯については1分単位で計算を行い、設定した単位時間で端数処理を行います。

<休憩1回の時>

出勤・外出・戻り・退勤の順で打刻

<休憩2回の時>

出勤・外出・戻り・退勤・例Ⅰ・例Ⅱ順で打刻



●時間数まるめ

日々の各時間帯を1分単位で計算を行い、1日単位で決めた単位時間で端数処理を行い、時間数計算を行います。

●月次まるめ

日々の各時間帯を1分単位で計算を行い、その1ヵ月合計時間数を決めた単位時間で端数処理を行い、時間数計算を行います。